

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

商店街

私が生まれた集落は、総社市の中心地から、北に約12kmのところにあります。小学生のころは、家の並んでいるわずかな区間だけが舗装してあり、ほとんどが未舗装でした。その道を耕耘機のキャリアカーや三輪トラックやボンネットバスが砂煙を上げて走っていました。今日は、そのボンネットバスに乗って年に数回連れて行ってもらった、総社の商店街のおはなしです。

当時、総社駅前には中鉄バスの営業所があり、多くの路線がありました。私の集落を通っていた路線は、神原行き（吉備中央町下竹荘神原）でした。営業所から東に商店街が3km程度一筋に延びていました。卵屋、金魚屋、自転車屋、金物屋、映画館など多くの店が軒を連ねていました。

商店街の中に食堂があり、中華そばが90円、うどんが60円くらいだったと思います。母親の財布の具合によって、どちらになるかが決まりました。ほかのメニューもありましたが食べた記憶はありません。その食堂の中華そばがわたしと弟にとっては最高のごちそうでした。

倉敷市に大きなショッピングモールができ、高梁市や総社市の商店街はもちろん、大型スーパーのテナントにも客はまばらです。ショッピングモールは、一度に買い物ができて、品揃えがよくて、洒落た雰囲気でのいいのですが、商店街がなくなってしまうのはとても寂しいです。

ひょっとしたきっかけで、尾道の町に行ったとき、昔ながらの商店街が息づいていてとても楽しかったです。商店街の中にある、8人ほどしか座れないちいさな食堂で中華そばを食べました。なつかしくもありおいしかったので、それから何度か尾道に足を運びました。

道路がよくなり、各家に当然のように自動車があり、くらしは豊かで便利になりました。しかし、何か大切な物をなくしてきたのではないかと思います。

もしかして、自分が年をとって時代の流れについていけなくなったかもしれません。

家内と娘は連れだってよくショッピングモールに行くけれど、私は人が多すぎて苦手でいつも留守番です。

※ 非常にローカルだけれど、今の総社バス営業所とは場所が違います。備北タクシーの前がありました。

※ 食堂の名は「みちや」、普通の中華そばがおすすめ450円

